

令和四年度 第五十二回 入学式 式辞

只今呼名を受けた百七十二名のみなさん。入学おめでとうございます。

今、入場から呼名を受けるまでのみなさんの様子やしっかり背筋を伸ばし、真剣に話を聞く今の姿を見て、今日から始まる中学校生活を夢や希望を持ってがんばろうとしていることが伝わってきて大変嬉しく思います。

昨年創立五十周年記念式典を終えた榛原中学校ですが、多くの実績を残し、各方面で活躍されている本校卒業生と惜しみない協力をいただける地域の方々に支えられながら、日々の学校生活を充実させ、多くの成果を挙げている学校です。

どうぞ安心して、中学校生活を思う存分頑張ってください。

では具体的にどんなことに頑張ってほしいかについて三つお話しします。

榛原中学校の学校教育目標は『こころざしを育てる』です。中学校になったこの機に、この榛原中学校で達成したい夢や希望をもち、その達成に向けてがんばることで大きく成長することができるはずで。目標を持ってがんばってほしいということが一つの目です。

二つ目は、夢や希望の達成のために「自分自身を鍛える」ということです。中学生期は、「体」が大きく成長すると同時に「心」も大人に近づいていきます。

授業、部活動、学校行事など学校生活のあらゆる場面で自分にとって厳しい道を選択することが、三年後には大きく成長した自分に変身しているはずで。

そして最後に、友達を大切にすることです。学校生活は多くの人と関わりながら生活していきます。多くの人がいれば、自分の考えや感じ方と違った捉え方をする人もいます。学校生活の中ではこうした様々な価値観を理解した上で、お互いを認め合い高め合って、共に成長していくことを願っています。中学校生活で得られた仲間が、これからみなさんの一生の宝物になるはずで。

以上三つのことを常に念頭において、これからの中学校生活を大いに楽しんでください。みなさんの入学を心待ちにしていた在校生ならびに職員一同、これからみなさんと一緒にこの榛原中で学ぶことを楽しみにしています。共にがんばりましょう。

保護者の皆様、本日はお子様のご入学誠におめでとうございませす。手塩にかけて育てられたお子様が、立派に成長され本日を迎えられたことを、心からお慶び申し上げます。

お子様の健やかな成長のためには、保護者のみなさんと学校が手を携えていくことが必要です。思春期にさしかかる中学生時代は心も体も大きく変わり、家庭でのかかわりも思春期特有で難しい時期を迎えます。小学校時代とは違ったかかわりが求められることも生まれてきます。困ったときにはどんなことでも結構ですのでお気軽にご相談ください。

本校の教育活動に対して御理解と御協力をいただきますと共に、お子様への愛情あるかかわりを引き続きお願い致します。

結びに、たいへんお忙しい中、教育委員の吉住幸子様をはじめ、市議会議員の皆様、学校運営協議会の皆様に御臨席をいただきましたことに感謝申し上げるとともに、今後とも榛原中学校への絶大なるご支援ご協力をお願いいたしまして式辞といたします。

令和四年四月八日

牧之原市立榛原中学校長 大石 友巳